

## 平成 21 年 1 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

上場会社名 ミネルヴァ・ホールディングス株式会社  
 コード番号 3090  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中島成浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長 (氏名) 高橋 要

平成 20 年 12 月 15 日  
 上場取引所 大証ヘラクレス  
 URL <http://www.minerva-hd.com/>  
 TEL (06)6910-0031(代表)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 21 年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 2 月 1 日 ~ 平成 20 年 10 月 31 日)

(注) 当社は、平成 21 年 1 月期より連結財務諸表を作成しているため、平成 20 年 1 月期第 3 四半期及び平成 20 年 1 月期については記載しておりません。

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 1 月期第 3 四半期	4,141	—	119	—	120	—	81	—
20 年 1 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
20 年 1 月期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 1 月期第 3 四半期	7,602	97	7,602	97
20 年 1 月期第 3 四半期	—	—	—	—
20 年 1 月期	—	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21 年 1 月期第 3 四半期	1,551		933		60.2	90,801	37	
20 年 1 月期第 3 四半期	—		—		—	—	—	
20 年 1 月期	—		—		—	—	—	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21 年 1 月期第 3 四半期	17		△55		△101		311	
20 年 1 月期第 3 四半期	—		—		—		—	
20 年 1 月期	—		—		—		—	

### 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
(基準日)	第 3 四半期末	
	円	銭
20 年 1 月期第 3 四半期	—	—
21 年 1 月期第 3 四半期	—	—

### 3. 平成 21 年 1 月期の連結業績予想 (平成 20 年 2 月 1 日 ~ 平成 21 年 1 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	5,631	—	163	—	165	—	117	—	10,751	85

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う）： 無  
 特定子会社の異動）  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (4) 会計監査人の関与 : 無

5. 個別業績の概要（平成 20 年 2 月 1 日 ～ 平成 20 年 10 月 31 日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 1 月期第 3 四半期	2,641	△18.3	93	△25.6	101	△0.9	69	△21.5
20 年 1 月期第 3 四半期	3,234	—	125	—	102	—	88	—
20 年 1 月期	4,266	—	161	—	137	—	118	—

(注 1) 当社は、平成 20 年 1 月期第 3 四半期より四半期財務諸表の開示をおこなっておりますので、平成 20 年 1 月期第 3 四半期対前期増減率については記載していません。

(注 2) 当社は平成 20 年 2 月 1 日に EC ソリューション事業部門を会社分割（簡易新設分割）し、当社の 100% 子会社となるジェネシス・イーシー株式会社を設立しております。また、平成 20 年 4 月 25 日開催の第 8 期定時株主総会の決議に基づき平成 20 年 8 月 1 日付で当社の E コマース（インターネット通信販売）事業部門を会社分割し、当社の 100% 子会社となるナチュラルム・イーコマース株式会社を設立し、加えて社名をミネルヴァ・ホールディングス株式会社に変更し、持株会社体制に移行したため、事業に係る売上がなくなり、各事業子会社からの経営管理収入が収益の中心となりました。なお、平成 21 年 1 月期第 3 四半期より、売上高には、営業収入の金額が含まれております。また、個別の業績は前第 3 四半期と比較して、大きく乖離が生じておりますが、それぞれの子会社の業績は連結業績に含まれております。

	1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭
21 年 1 月期第 3 四半期	6,515	46
20 年 1 月期第 3 四半期	9,058	93
20 年 1 月期	11,711	99

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
21 年 1 月期第 3 四半期	976	921	94.4	89,668	19		
20 年 1 月期第 3 四半期	1,444	906	62.7	81,163	33		
20 年 1 月期	1,320	949	71.9	84,176	00		

(注) 当社は平成 20 年 2 月 1 日に EC ソリューション事業部門を会社分割（簡易新設分割）し、当社の 100% 子会社となるジェネシス・イーシー株式会社を設立しております。また、平成 20 年 4 月 25 日開催の第 8 期定時株主総会の決議に基づき平成 20 年 8 月 1 日付で当社の E コマース（インターネット通信販売）事業部門を会社分割し、当社の 100% 子会社となるナチュラルム・イーコマース株式会社を設立し、加えて社名をミネルヴァ・ホールディングス株式会社に変更し、持株会社に移行しております。このため、個別の業績は前第 3 四半期と比較して、大きく乖離が生じておりますが、それぞれの子会社の業績は連結業績に含まれております。

6. 平成 21 年 1 月期の個別業績予想（平成 20 年 2 月 1 日 ～ 平成 21 年 1 月 31 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	2,700	△36.7	94	△41.6	103	△24.8	80	△53.2	7,369	98

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理していましたが、当期は切り捨てに変更しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成 21 年 1 月期より連結財務諸表を作成しております。

当社は、平成 20 年 8 月 1 日付で持株会社に移行しております。なお、EC ソリューション事業部門及び E コマース（インターネット通信販売）事業部門はそれぞれ会社分割によりジェネシス・イーシー株式会社（平成 20 年 2 月 1 日設立）及びナチュラルム・イーコマース株式会社（平成 20 年 8 月 1 日設立）に承継され、個別業績予想には含まれておりません。

業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成20年2月1日から平成20年10月31日）におけるわが国経済は、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安を背景に、株式・為替市場の大幅な変動により、企業収益の悪化が強まるなど、景気の先行きは不透明のまま推移しております。

このような厳しい環境にも関わらず、当社グループは、新たなショッピングサイトの立ち上げや販路の拡大など、営業の強化と発展に努めてまいりました。新たなショッピングサイトの立ち上げにつきましては、フィギュアやプラモデルなどのホビー商品の販売を中心としたオタク向け市場に本格参入し、ショッピングサイト「オタクの電腦街」をオープン致しました。

ショッピングサイト「オタクの電腦街」は、竹内義和氏や岡田斗司夫氏両名のプロデュースにより、大川興業代表取締役総裁の大川豊氏、タレントの北野誠氏など多数の著名なオタク界のカリスマの記事を集めたブログポータルサイト「オタクの電腦blog」を姉妹サイトに持ち、ブログとショッピングサイトの巧みな連携により、集客、送客、販売までの一貫した販売戦略を講じております。

また、インターネット通信販売の販路の拡大につきましては、ショッピングサイト「アウトドア&フィッシング ナチュラム」をAmazon.co.jpの法人向け出店型サービス「マーチャント@amazon.co.jp」に出店致しました。同サイトは、独自ドメインで運用する本店以外に、楽天市場とYahoo!ショッピング等のショッピング・モール（仮想商店街）に出店しておりますが、販路の拡大として独自の商圏と幅広い顧客層を持つAmazon.co.jpに出店することにより新たな顧客の獲得による増収を目指しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間における連結業績は、売上高4,141,185千円、営業利益119,276千円、経常利益120,011千円、四半期純利益81,449千円と順調に推移しました。

## (1) Eコマース（インターネット通信販売）事業

当第3四半期会計期間におけるEコマース（インターネット通信販売）事業は、主力ショッピングサイト「アウトドア&フィッシング ナチュラム」での不正アクセスの発生による対応として、セキュリティの強化、5%の値引き販売、クーポン券の発行等を実施致しました。これらに要した予算外の費用ならびに利益率の低下が、当会計期間の業績に相当の影響を及ぼすものと危惧しておりましたが、第3四半期の対前年同期比の平均数値として、売上高119.4%、出荷件数117.0%、会員数126.0%を上げることができ、売上、利益共に当会計期間の計画を達成したことから、業績に与える影響は極めて軽微なものとなりました。また、当会計期間は台風の到来シーズンであるにも関わらず、例年に比べて台風の上陸数や、長期にわたる天候不良が少なかったことも計画達成の一因であると思料致しております。また、スポーツ&フィットネス関連商品のショッピングサイト「健康計画」では、月商ベースで自己新記録となる売上を達成するなど、引き続き順調に推移致しました。

以上の結果、Eコマース（インターネット通信販売）事業の売上高は、3,948,532千円となりました。

## (2) ECソリューション事業

ECソリューション事業の主力商品である「Genesis-EC」のASP事業は、Eコマース事業を効率的に運営するためのサービスの一環として、クライアントの大幅なレスポンスの向上を目的としたシステムの全面リニューアルを当期首から継続して行っております。Eコマース支援ビジネス市場の拡大を背景に、圧倒的シェアを確保するためには、Eコマース事業の基本となる基幹システムの改良・改善は、焦眉の急であり、当期末を目前に全力でリニューアルに臨んでおります。また、営業面につきましては、今後東京を中心とした関東地区の展開を視野に入れ若干名の営業の増員を図っております。

以上の結果、ECソリューション事業の売上高は、192,653千円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社は当期より連結財務諸表を作成しているため、対前期比較はおこなっておりません。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,551,845千円となりました。また純資産は933,528千円となりました。現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の当第3四半期連結会計期間末残高は311,194千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における営業活動の結果、獲得した資金は、17,416千円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益123,260千円を計上したこと及び、仕入債務の増加171,160千円による収入に対して売上債権150,036千円の増加による支出及びたな卸資産159,333千円の増加による支出が主な要因であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における投資活動の結果、使用した資金は、55,588千円となりました。

これは、投資有価証券の取得による支出30,000千円、有形固定資産の取得による支出16,164千円及び無形固定資産の取得による支出12,506千円に対して投資有価証券の売却及び償還による収入31,000千円が主な要因であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における財務活動の結果、使用した資金は、101,979千円となりました。

これは主に自己株式の取得のために98,350千円を支出したためであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年9月12日付「平成21年1月期（通期）の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 4. その他

### (1) 期中における子会社等の異動

- ①平成20年2月1日に当社のECソリューション事業部門を会社分割し、当社の100%子会社となるジェネシス・イーシー株式会社を設立し、同社を連結子会社といたしました。
- ②中国合弁現地法人である成都音和娜網絡服務有限公司へ追加出資をおこない、株式会社夢やについては、第三者割当増資を引き受けました。
- ③平成20年8月1日に当社のEコマース（インターネット通信販売）事業部門を会社分割し、当社の100%子会社となるナチュラム・イーコマース株式会社を設立し、同社を連結子会社といたしました。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	411,194	
2 売掛金	421,605	
3 たな卸資産	491,178	
4 繰延税金資産	4,114	
5 その他	57,412	
貸倒引当金	△86	
流動資産合計	1,385,419	89.3
II 固定資産		
1 有形固定資産	32,353	2.1
2 無形固定資産	44,829	2.9
3 投資その他の資産	89,243	5.7
固定資産合計	166,425	10.7
資産合計	1,551,845	100.0

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の実績は表示していません。

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)		
I 流動負債		
1 支払手形及び買掛金	429,315	
2 未払金	90,743	
3 未払法人税等	32,411	
4 ポイント引当金	27,654	
5 賞与引当金	10,297	
6 その他	27,893	
流動負債合計	618,316	39.8
II 固定負債	—	
固定負債合計	—	—
負債合計	618,316	39.8
(純資産の部)		
I 株主資本		
1 資本金	602,737	38.8
2 資本剰余金	157,490	10.1
3 利益剰余金	270,810	17.5
4 自己株式	△97,509	△6.2
株主資本合計	933,528	60.2
純資産合計	933,528	60.2
負債純資産合計	1,551,845	100.0

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の実績は表示していません。

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

(2) 四半期連結損益計算書

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年2月1日 至 平成20年10月31日)		
	金額(千円)	百分比 (%)	
I 売上高		4,141,185	100.0
II 売上原価		2,990,296	72.2
売上総利益		1,150,888	27.8
III 販売費及び一般管理費		1,031,611	24.9
営業利益		119,276	2.9
IV 営業外収益			
1 受取利息	1,213		
2 講演料収入	291		
3 その他	535	2,042	0.0
V 営業外費用			
1 支払利息	22		
2 自己株式取得費	841		
3 持分法による投資損失	338		
4 その他	105	1,308	0.0
経常利益		120,011	2.9
VI 特別利益			
1 投資有価証券売却益	6,000		
2 投資損失引当金戻入益	22,851		
3 その他	4	28,855	0.7
VII 特別損失			
情報セキュリティ対策費	25,606	25,606	0.6
税金等調整前 四半期純利益		123,260	3.0
法人税、住民税 及び事業税	30,025		
法人税等調整額	11,785	41,811	1.0
四半期純利益		81,449	2.0

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の実績は表示しておりません。

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年2月1日 至 平成20年10月31日)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成20年1月31日残高(千円)	602,737	157,490	189,361	—	949,589	949,589
第3四半期連結会計年度中の 変動額						
四半期純利益			81,449		81,449	81,449
自己株式の取得				△97,509	△97,509	△97,509
第3四半期連結会計年度中の 変動額合計(千円)	—	—	81,449	△97,509	△16,060	△16,060
平成20年10月31日残高(千円)	602,737	157,490	270,810	△97,509	933,528	933,528

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の実績は表示していません。

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。



(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年2月1日 至 平成20年10月31日)	
	金額(千円)	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益		123,260
減価償却費		22,759
貸倒引当金の増加額		32
賞与引当金の増加額		7,241
ポイント引当金の増加額		5,566
投資損失引当金の減少額		△22,851
受取利息		△1,213
支払利息		22
投資有価証券売却益		△6,000
持分法による投資損失		338
自己株式取得費		841
売上債権の増加額		△150,036
たな卸資産の増加額		△159,333
仕入債務の増加額		171,160
その他		27,292
小計		19,080
利息の受取額		964
利息の支払額		△22
法人税等の支払額		△2,606
営業活動によるキャッシュ・フロー		17,416
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出		△16,164
無形固定資産の取得による支出		△12,506
投資有価証券の取得による支出		△30,000
投資有価証券の売却及び償還による収入		31,000
その他		△27,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		△55,588
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出		△98,350
その他		△3,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		△101,979
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>		△140,151
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>		451,346
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>		311,194

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の実績は表示していません。

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理していましたが、当期は切り捨てに変更しております。

6. 四半期個別財務諸表

(注) 当社は平成20年8月1日付で持株会社体制に移行しております。なお、前第3四半期及び前事業年度に計上しておりました、ECソリューション事業部門及びEコマース(インターネット通信販売)事業部門は、それぞれ会社分割によりジェネシス・イーシー株式会社(平成20年2月1日設立)及びナチュラルム・イーコマース株式会社(平成20年8月1日設立)の連結子会社に承継され、連結財務諸表に含まれて開示されており、個別財務諸表には含まれておりません。従いまして、当第3四半期と前第3四半期と単純に比較した場合は大きく乖離しております。

(1) 四半期貸借対照表

区分	前第3四半期会計期間末 (平成19年10月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成20年10月31日)		前事業年度 要約貸借対照表 (平成20年1月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	571,704		219,201		551,346	
2 売掛金	372,880		29,575		271,569	
3 たな卸資産	320,995		114		331,845	
4 短期貸付金	—		162,506		—	
5 繰延税金資産	39,503		6,755		35,208	
6 その他	27,109		43,026		26,556	
貸倒引当金	△75		△5		△54	
流動資産合計	1,332,115	92.2	461,173	47.2	1,216,471	92.1
II 固定資産						
1 有形固定資産	26,900	1.8	25,520	2.6	24,466	1.8
2 無形固定資産	51,552	3.6	13,967	1.4	47,068	3.6
3 投資その他の資産	57,250		475,948		55,371	
投資損失引当金	△22,851	34,399	2.4	—	475,948	48.8
△22,851			△22,851		32,520	2.5
固定資産合計	112,850	7.8	515,436	52.8	104,053	7.9
資産合計	1,444,966	100.0	976,610	100.0	1,320,524	100.0

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

区分	前第3四半期会計期間末 (平成19年10月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成20年10月31日)		前事業年度 要約貸借対照表 (平成20年1月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形	51,268		—		11,803	
2 買掛金	343,731		—		246,352	
3 未払金	89,917		7,873		60,228	
4 未払費用	10,423		13,949		11,749	
5 未払法人税等	3,342		25,557		4,839	
6 ポイント引当金	22,142		—		22,088	
7 賞与引当金	7,798		2,427		3,056	
8 未払消費税等	2,452		845		3,274	
9 その他	3,594		4,077		4,914	
流動負債合計	534,668	37.0	54,731	5.6	368,303	27.9
II 固定負債	3,947		—		2,632	
固定負債合計	3,947	0.3	—	—	2,632	0.2
負債合計	538,615	37.3	54,731	5.6	370,935	28.1
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	596,223	41.3	602,737	61.7	602,738	45.7
2 資本剰余金						
(1) 資本準備金	150,975		157,490		157,490	
資本剰余金合計	150,975	10.4	157,490	16.1	157,490	11.9
3 利益剰余金						
(1) その他利益剰余金						
繰越利益剰余金	159,153		259,160		189,362	
利益剰余金合計	159,153	11.0	259,160	26.5	189,362	14.3
4 自己株式	—		△97,509	△9.9	—	
株主資本合計	906,351	62.7	921,878	94.4	949,589	71.9
純資産合計	906,351	62.7	921,878	94.4	949,589	71.9
負債純資産合計	1,444,966	100.0	976,610	100.0	1,320,524	100.0

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

(2) 四半期損益計算書

区分	前第3四半期会計期間 (自 平成19年2月1日 至 平成19年10月31日)		当第3四半期会計期間 (自 平成20年2月1日 至 平成20年10月31日)		前事業年度 要約損益計算書 (自 平成19年2月1日 至 平成20年1月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	3,234,918	100.0	2,573,769	100.0	4,266,713	100.0
II 売上原価	2,323,114	71.8	1,869,069	72.6	3,062,334	71.8
売上総利益	911,804	28.2	704,699	27.4	1,204,379	28.2
III 営業収入	—	—	67,876	2.6	—	—
IV 営業費用	—	—	57,639	2.2	—	—
V 販売費及び一般管理費	785,820	24.3	621,224	24.2	1,043,248	24.4
営業利益	125,984	3.9	93,713	3.6	161,131	3.8
VI 営業外収益	975	0.0	8,680	0.3	1,849	0.0
VII 営業外費用	24,880	0.8	960	0.0	24,987	0.6
経常利益	102,078	3.1	101,433	3.9	137,993	3.2
VIII 特別利益	—	—	28,855	1.1	—	—
IX 特別損失	—	—	25,606	1.0	704	0.0
税引前四半期(当期) 純利益	102,078	3.1	104,682	4.0	137,289	3.2
法人税、住民税 及び事業税	2,123		23,171		2,830	
法人税等調整額	11,685	13,808	11,711	34,883	15,981	18,811
四半期(当期) 純利益	88,270	2.7	69,798	2.7	118,479	2.8

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

(注) 当社は平成20年8月1日から持株会社体制に移行したため、事業に係る売上がなくなり、各事業子会社からの経営管理収入が収益の中心となりましたので、平成21年1月期第3四半期より、売上高と経営管理収入の営業収入を併記しております。また、営業収入に係る費用を営業費用として記載しております。

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期会計期間(自 平成19年2月1日 至 平成19年10月31日)

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金			
			繰越利益剰余金			
平成19年1月31日残高(千円)	445,248	—	70,883	516,131	516,131	
第3四半期会計期間中の変動額						
新株の発行	150,975	150,975		301,950	301,950	
第3四半期純利益			88,270	88,270	88,270	
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	150,975	150,975	88,270	390,220	390,220	
平成19年10月31日残高(千円)	596,223	150,975	159,153	906,351	906,351	

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

当第3四半期会計期間(自 平成20年2月1日 至 平成20年10月31日)

	株主資本					株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金				
			繰越利益剰余金				
平成20年1月31日残高(千円)	602,737	157,490	189,361	—	949,589	949,589	
第3四半期会計期間中の変動額							
第3四半期純利益			69,798		69,798	69,798	
自己株式の取得				△97,509	△97,509	△97,509	
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	—	—	69,798	△97,509	△27,710	△27,710	
平成20年10月31日残高(千円)	602,737	157,490	259,160	△97,509	921,878	921,878	

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。

前事業年度(自 平成19年2月1日 至 平成20年1月31日)

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金			
			繰越利益剰余金			
平成19年1月31日残高(千円)	445,248	—	70,883	516,131	516,131	
事業年度中の変動額						
新株の発行	157,490	157,490	—	314,980	314,980	
当期純利益	—	—	118,479	118,479	118,479	
事業年度中の変動額合計(千円)	157,490	157,490	118,479	433,459	433,459	
平成20年1月31日残高(千円)	602,738	157,490	189,362	949,589	949,589	

(端数処理の注記) 端数処理について、前期は四捨五入で処理しておりましたが、当期は切り捨てに変更しております。